

令和5年度 高次脳機能障害支援拠点センター事業報告

○ 高次脳機能障害支援拠点センターの役割（平成20年に設置）

高次脳機能障害者に対する支援体制の確立を図ることを目的に以下の事業を実施

- ① 高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援
- ② 高次脳機能障害の正しい理解を促進するための普及・啓発事業
- ③ 高次脳機能障害者の支援手法等に関する研修等の実施（人材養成）

※国の定める高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要綱より

○ 高次脳機能障害支援拠点センターの概要

① 利用時間

8時30分から17時まで

※ただし、土日祝祭日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く

② 場所

高知市廿代町2-22（近森リハビリテーション病院内）

高次脳機能障害支援拠点センター 青い空

③ 相談方法

電話、メール、FAX、来訪による面談

職 種	職員数
作業療法士	1名
理学療法士	2名
公認心理士	1名

○ 事業実績

※R5年度については、12月末時点の実績

① 相談支援事業

(1) 相談件数

年度	初回	継続	合計
R5年度	64	417	481
R4年度	100	532	632
R3年度	79	333	412

(2) 相談方法

年度	電話	メール	訪問	来所	担当者会	合計
R5年度	318	20	35	86	22	481
(うち初回)	50	0	6	6	2	64
R4年度	419	14	40	133	26	632
(うち初回)	75	4	5	12	4	100
R3年度	310	4	43	46	9	412
(うち初回)	54	1	11	9	4	79

※担当者会：ケース検討会

市町村、保健所、医療機関、相談支援事業所、地域包括支援センター、
障害者就業・生活支援センター、法テラス等からの依頼で参加

(3) 初回相談者分類

年度	当事者	家族	支援者	合計
R5 年度	9	8	47	64
R4 年度	22	20	58	100
R3 年度	15	23	41	79

※支援者・・・

市町村等：中央東福祉保健所、土佐市社会福祉協議会、芸西村役場保健センター、三里地域包括支援センター、高知市障がい福祉課、芸西村役場、安芸市福祉事務所、大月町社会福祉協議会、土佐町役場健康福祉課、いの町役場地域包括支援センター、高知市障害者相談センター西部、土佐市地域包括支援センター、北川村社会福祉協議会、安芸福祉事務所障害ふくし係、香南市福祉事務所、奈半利町社協、日高村健康福祉課

医療機関：近森リハビリテーション病院、リハビリテーション病院すこやかな杜、安芸総合病院、高知大学附属病院、藤戸病院、白菊園病院、高知医療センター、内田脳神経外科病院、高知赤十字病院

就労支援：高知障害者職業センター、ハローワークいの、高知家の女性しごと応援室、高知労働局

障害福祉サービス：在宅ケアセンターみかづき、グループホームいこいの森、高知医療生活協同組合（居宅介護支援）生協介護の窓口、居宅介護支援事業所桂浜

その他：徳島県高次脳機能障害友の会事務局、当事者が所属する企業の人事課、弁護士、高知地方検察庁、高知県庁県立病院課、かがわ高次脳機能障害支援センター

(4) 対象者年齢別

年度	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
令和5年度	0	0	10	158	102	143	33	14	2	0	19	481
(うち初回)	0	0	0	5	15	13	13	8	1	0	9	64
令和4年度	0	1	38	188	140	189	52	7	9	0	8	632
(うち初回)	0	1	2	14	25	34	11	4	4	0	5	100
令和3年度	5	1	28	119	75	48	74	10	12	1	39	412
(うち初回)	2	1	3	8	17	9	14	7	5	1	12	79

(5) 相談内容分類別

年度	就労・教育	経済・制度利用	福祉サービス・社会資源	家族支援	医療	生活課題への対応	医療機関紹介	看護・介護方法	心理面談	その他	合計
R5 年度	52	8	53	77	49	106	3	2	82	49	481
(うち初回)	6	0	5	7	12	18	1	1	1	13	64
R4 年度	51	60	29	27	53	189	27	2	141	53	632
(うち初回)	7	4	10	7	11	38	6	1	5	11	100
R3 年度	59	28	48	98	30	98	15	2	0	34	412
(うち初回)	7	9	15	19	5	15	4	1	0	4	79

(6) 相談者分類別相談内容

年度	就労・教育	経済・制度利用	福祉サービス・社会資源	家族支援	医療	生活課題への対応	医療機関紹介	看護・介護方法	心理面談	その他	合計
当事者	18	1	17	0	13	41	0	1	79	16	186
家族	3	0	10	59	0	7	0	0	0	0	79
支援者	31	7	26	18	36	58	3	1	3	33	216
合計	52	8	53	77	49	106	3	2	82	49	481

初回相談の主な内容について

当事者から

- ・当事者グループ(家族会、女子会)への参加希望
- ・診断、障害者手帳の申請希望
- ・高次脳機能障害の症状について知りたい
- ・高次脳機能障害への対応について

家族から

- ・高次脳機能障害のリハビリに関する情報を教えて欲しい
- ・当事者への対応について(リハビリ拒否等)
- ・当事者が精神科受診することへの不安について

支援者から

- ・高次脳機能障害かどうか分からないが、職場の対人関係トラブルがあり困っている
- ・高次脳機能障害かどうか分からないので、どのように医療機関受診を勧めたらよいか
- ・高次脳機能障害かどうか分からないが、就労支援につなげたい
- ・高次脳機能障害の診断をどこで受けられるか
- ・高次脳機能障害の症状について
- ・病識に乏しく、就労につながらない
- ・病識に乏しく、支援の必要を感じていない当事者への対応について
- ・障害者手帳の診断書作成について
- ・当事者の日中活動について
- ・家族への対応について
- ・家族の相談先について
- ・当事者・家族の相談先として紹介したという報告

(6) 対象者の年齢別相談内容

年度	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明
就労・教育	0	0	0	15	15	19	2	0	0	0	1
経済・制度 利用	0	0	0	5	2	1	0	0	0	0	0
福祉サー ビス・社会資源	0	0	2	23	8	11	6	3	0	0	0
家族支援	0	0	8	59	10	0	0	0	0	0	0
医療	0	0	0	12	19	14	2	0	0	0	2
生活課題への 対応	0	0	0	21	38	34	6	1	1	0	5
医療機関紹介	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
看護・介護 方法	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
心理面談	0	0	0	2	1	45	15	10	0	0	9
その他	0	0	0	20	8	16	2	0	1	0	2
合計	0	0	10	158	102	143	33	14	2	0	19

(7) 相談者の圏域 (延べ)

年度	安芸	中央東	高知市	中央西	高幡	幡多	不明	県外
R5 年度	17	72	320	29	20	7	12	4
(うち初回)	7	6	38	4	0	3	3	3
R4 年度	0	93	402	31	67	23	8	8
(うち初回)	0	11	53	13	8	4	7	4
R3 年度	2	55	285	42	7	19	2	
(うち初回)	1	9	47	9	2	9	2	

② 普及・啓発事業

(1) 支援拠点センター及び高次脳機能障害についての広報

- ・リーフレットの配布
県内医療機関・各種研修会（民生委員研修会等）での配布
- ・テレビ・ラジオでの読み上げ広報
6月実施
- ・HP での高次脳機能障害に関する情報発信を強化
青い空の HP の改修、「高知県メンタルヘルスサポートナビ」を構築 (R6.3月～)
- ・安芸圏域「ここから東部ネットワーク」にて高次脳機能障害の啓発と支援拠点の情報提供

(2) 家族教室

目的 : 高次脳機能障害者を抱える家族が、症状を理解し、対応や環境設定について理解する。

内容 : 計3回予定

- ・高次脳機能障害への対応；

利用できる社会制度、高次脳機能障害の症状について、家族の役割

参加者：第1回7名

③ 研修事業

(1) 地域研修会

目的 : 専門的な知識の普及と高次脳機能障害のある方に対する支援の質の向上

日時 : 令和5年11月15日(水) 14時00分～16時00分

内容 : 「高次脳機能障害者の復職におけるアセスメント」講義

講師 : 障害者職業総合センター職業センター

坏千弘氏 武内洵平氏

参加者：47名

圏域別参加者数

高知市	幡多	須崎	中央東	中央西	安芸	県外
17	1	7	2	13	7	0

参加者の職種

作業療法士	13
看護師	
医師	
言語聴覚士	
理学療法士	
心理士	
ソーシャルワーカー	1
介護福祉士	4

相談支援専門員	5
社会福祉士	3
保健師	5
障害福祉サービス事業所	5
介護支援専門員	5
社会復帰指導員	2
職業紹介	1
その他	3

(2) 医療従事者向け研修会（予定）

目的：医療従事者と地域での支援者に必要な高次脳機能障害評価を共有する

日時：令和6年3月（日時は未定）

内容：①医療と地域をつなげる高次脳機能障害評価について講義をお願いしている

講師：清水 大輔 氏（兵庫医科大学）

参加者：

圏域別参加者数

高知市	幡多	須崎	中央東	中央西	安芸	県外

参加者の職種

作業療法士	
相談支援専門員	
保健師	
医師	
障害福祉サービス事業所 サービス管理責任者	
理学療法士	
介護支援専門員	
介護保険サービス事業所 支援員	
障害福祉サービス事業所 管理者	
心理士	
介護福祉士	

言語聴覚士	
社会福祉士	
地域福祉コーディネーター	
医療ソーシャルワーカー	
看護師	
管理栄養士	
施設 清掃員	
事務	
障害福祉サービス事業所 支援員	
障害福祉サービス支援員	
精神保健福祉士	

(3) 心理士を対象にした研修

目的：高次脳機能障害への理解

参加者：各 1-3 名

回数：2回予定

内容：・神経心理検査結果の解釈について
・症状説明について(リーフレットの活用)
・当事者及び家族の相談先について

④ その他

安芸圏域における高次脳機能障害者への支援会議の開催

目的：高次脳機能障害の評価診断を行っている医療機関は、中央圏域に集中しており、発症から地域生活までの支援を、住まいの近くで受けることができる体制をつくる必要がある。そのため、安芸圏域の総合病院である田野病院に高次脳機能障害者支援の現状を確認し、今後の体制を検討する。

日時：令和5年6月28日（水）

参加者：田野病院 臼井院長、細田部長（PT）、高崎主任（OT）、森本副主任（OT）
高次脳機能障害支援拠点センター青い空 岡村センター長、津野氏、和田氏
障害保健支援課 森チーフ、廣瀬
南国中央病院 宮本院長

今後の展望：かかりつけ医の情報提供書等があれば、新規患者でも評価診断をすることは可能。
拠点に東部地区の人の相談があった場合も連携した支援を行っていく。